

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1, 火 / Tue 2
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2017/11/21		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170586018901	科目番号 / Subject code	05860189
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMA 12321_006		
授業科目名 / Subject	教育の基礎 (教育心理) / Educational Psychology		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	吉田 ゆり / Yuri Yoshida, 山岸 賢一郎 / Kenichiro Yamagishi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	吉田 ゆり / Yuri Yoshida		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	吉田 ゆり / Yuri Yoshida		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目, 教職に関する科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[教育]本館3F第33講義室 / Room 33		
対象学生 (クラス等) / Object Student	教職履修者		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yuyoshida nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部220研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2394		
担当教員オフィスアワー/Office hours	前期 月曜日 後期 木曜日		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	教育心理学及び発達心理学を柱とし、臨床心理学や教育学の知見を交えて、児童生徒を対象に、四つの領域について学習する。4領域とは?児童生徒の発達、?児童生徒の学習、?児童生徒の適応、?児童生徒の教育評価である。教育心理学とは『教育：人間の成長発達をすすめるためになされる営み』を、心理学の知見(研究・実践成果により得られた知識と方法)によって、科学的・実証的に解き明かし、『「教え・育てる」「教えられ、育てられる」というかわり』に活かすことを目標とした学問であると定義し、その理解に必要な事項・事象を概説する。 ただし、中学校及び高等学校の教員免許取得予定者が多いことから、児童期よりも思春期以降、青年前期を中心とした展開となる。		
授業到達目標/Goal	将来教職に就くものにとって、各教科の指導内容・方法に精通することに加え、教育指導をどのように行うかにあたり児童生徒の心身の発達、学習のメカニズムやその動機づけ、健全なパーソナリティの育成等について基礎・基本となる教育心理学的な知識や基本的な教育的態度の習得は必要とされる。教育的諸事象を心理学の視点から捉え考察することができる。 教育心理学の知見を効果的な指導に役立てることができる。		
授業方法 (学習指導法) /Method	講義形式を中心として、適宜テーマに応じた討議を行う。 特に教育評価については問題演習、体験学習・体験活動においては学校集団を想定した体験学習、不登校や不適応感、発達障害児については模擬事例等の検討を行う。		
授業内容/Class outline/Con			
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	発達 (幼児期、児童期、青年前期) (愛着、思春期、アイデンティティ) 学習 (動機付け、条件付け) 適応 (発達障害 不登校 学級集団 適応・不適応) 評価 (教育評価、指導方略)		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	特に指定しない。授業資料はLACSにアップするので各自ルールに従って活用する。 参考図書としては「よくわかる教育心理学」「よくわかる認知発達」ミネルヴァ書房、その他教育心理学、発達心理学の入門書を推奨する。基礎的な資料として文部科学省 中学校学習指導要領、高等学校学習指導要領を指定する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	単位取得試験の受験資格は1/3以上の出席とする。 成績評価は以下の通り。 ?小レポート・ワークシート(2回程度) 40% ?学期末試験 60% ノート・書籍・資料の持ち込み可。 ただし、電子機器の持ち込みは不可。 (携帯電話・スマートフォン・タブレット・PC等を使用することはできません。)		
受講要件 (履修条件) /Requirements	指定しないが、教職課程を履修するものを原則とする。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks(URL)	授業にあたり留意事項があります。オリエンテーションで説明しますが、必ず遵守して頂けるようお願いします。
学生へのメッセージ/Message for students	教育現場の実際を踏まえて、中学生・高校生の心の育ちをどう考えるのか、実証的な心理学研究の蓄積からなにがいえるのか、考える時間にしてほしいと思います。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	教育心理学の役割・性質
第2回	幼児・児童生徒の発達? 乳幼児期から児童期の発達
第3回	幼児・児童生徒の発達? 社会性と自己の発達、思春期の課題を中心に
第4回	幼児・児童生徒の発達? 青年期 ライフサイクル、ジェンダー、生涯発達
第5回	学習? 学習の理論
第6回	学習? 学習の動機づけ
第7回	学習? 教授法 ヴィゴツキーの「発達の最近接領域」を中心に
第8回	教育評価? 知能観と知能検査、発達検査、教育評価ツール
第9回	教育評価? 教育アセスメント(相対評価・絶対評価および個人内評価)
第10回	教育評価? 教授法 体験学習 教師の心理 教師のストレス
第11回	学級集団の心理と指導 適応と不適応、
第12回	発達障害? 発達障害の諸相(自閉症スペクトラム、学習障害、ADHD)
第13回	発達障害? 発達障害児のアセスメントと支援
第14回	学校心理臨床の様相 スクールカウンセリングの課題(不登校や不応感)を中心に
第15回	家庭教育と学校教育 マルトリートメントと学校を中心に
第16回	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 4ク ォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1, 月 / Mon 2
開講期間 / Class period	2017/11/28 ~ 2018/02/05		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170586019301	科目番号 / Subject code	05860193
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMA 12331_006		
授業科目名 / Subject	教育の基礎 (教育行政・制度論) / Educational System and Administration		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	楠山 研 / Kusuyama Ken, 山岸 賢一郎 / Kenichiro Yamagishi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	楠山 研 / Kusuyama Ken		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	楠山 研 / Kusuyama Ken		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目, 教職に関する科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Object Student	医学部, 歯学部, 工学部, 環境科学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kusuyama nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部 219室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時 (要メール連絡)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	教育行政および教育制度の基本的な知識を身につけるとともに、具体的なテーマをもとに、教育行政および教育制度のあり方を検討する。		
授業到達目標/Goal	教育行政・制度の意味を理解するとともに、具体的に身近なテーマをもとに、そのあり方について背景を含めて検討できる。また国際比較や歴史などの多角的な視点から、現在の日本の教育行政・制度の特徴について考察できる。		
授業方法 (学習指導法) /Method	グループ活動が中心となる。班ごとの発表がある他、毎回発表について意見交換をしてもらう。こうした活動の合間に、教員による補足説明や発展的な話題についての講義をとりいれていく。		
授業内容/Class outline/Con			
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	教育と社会のつながり、取捨選択		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は指定しない。 参考書 河野和清『現代教育の制度と行政』福村出版、2008年。 その他の参考書は授業中に適宜紹介する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	この授業の目標が達成されているかどうかという観点から評価する。 グループ活動への評価 (相互評価を含む) 40% 授業中の小レポート等 30% 定期試験 (レポートの場合あり) 30%		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	ある制度がなぜあるのか、その背景を含めて考える癖をつけましょう		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	第1回 オリエンテーション (この授業の進め方について)		
第2回	第2回 授業担当者からの提案 (1) 教育行政・制度とは何か		
第3回	第3回 授業担当者からの提案 (2) 現代における教育行政・制度?		
第4回	第4回 授業担当者からの提案 (3) 現代における教育行政・制度?		
第5回	第5回 討論の進め方と練習		
第6回	第6回 討論 (1) 授業担当者からの提案を手がかりに議論を進める		
第7回	第7回 討論 (2) 授業担当者からの提案を手がかりに議論を進める		
第8回	第8回 討論 (3) 授業担当者からの提案を手がかりに議論を進める		

第9回	第9回 討論(4) 授業担当者からの提案を手がかりに議論を進める
第10回	第10回 ここまでの議論のまとめと今後の提案作り
第11回	第11回 討論(5) 参加者からの提案を手がかりに議論を進める
第12回	第12回 討論(6) 参加者からの提案を手がかりに議論を進める
第13回	第13回 討論(7) 参加者からの提案を手がかりに議論を進める
第14回	第14回 討論(8) 参加者からの提案を手がかりに議論を進める
第15回	第15回 教育行政・制度を学んでわかること

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1, 火 / Tue 2
開講期間 / Class period	2017/11/28 ~ 2018/01/30		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170586025301	科目番号 / Subject code	05860253
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMA 12311_006		
授業科目名 / Subject	教育の基礎 (教育原理) / Principles of Education		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山岸 賢一郎 / Kenichiro Yamagishi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	山岸 賢一郎 / Kenichiro Yamagishi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	山岸 賢一郎 / Kenichiro Yamagishi		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目, 教職に関する科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[教育]本館3F第33講義室 / Room 33		
対象学生 (クラス等) / Object Student	多文化社会・経済・薬・水産		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yamagi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部 2 2 1		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜3時限 (必ずメールでアポイントメントをとってください)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	教育に関する基礎的な知見 (教育の理念、教育に関する思想・歴史、教育課程の意義と編成方法、 等) を学びつつ、教育に関わる事に関して「批判」的に考察する力を養う。同時に、教育に携 わる者・教育に関わる者に求められる、必要最低限の倫理観と責任感を養う。		
授業到達目標/Goal	教育に関する事がついて、教育に関わる基礎的な知見 (教育の理念、教育に関する思想・歴史、 教育課程の意義と編成方法、等) を踏まえうえて、「批判」的に、ひいては「主体」的に、考え ることができる。また、倫理観と責任感を持って、「教育」および「教職」に向き合うことができ る。		
授業方法 (学習指導法) /Method	講義形式を基本とする (レジュメや映像等を適宜使用しながら講義を進め、各講義ごとに課題を課 す)。 講義以外に、他の受講者と意見交換をしつつ、思考内容を深め、発展させる時間を設ける。 なお、主体的学習促進支援システム(LACS)を活用して授業を行う。各自で事前に使用法を確認して おくこと。 下に示す授業内容は、必要に応じて (学習の進度や学習者の状況に応じて)、微修正することがあ る。		
授業内容/Class outline/Con	第1回 オリエンテーション (「批判」的思考について) 第2回 「子ども」とは誰か (歴史・思想的観点1) 第3回 「学校」とは何か (歴史・思想的観点2) 第4回 「学校」に通うということ (歴史・思想的観点3) 第5回 戦前戦中の教育は何を目指したか (歴史・思想的観点4) 第6回 戦後および現在の教育は何を目指しているのか (現代の教育理念1) 第7回 青少年は「凶悪化」したか (現代の教育理念2) 第8回 「家庭の教育力」は低下したか (現代の教育理念3) 第9回 「自律」という教育理念 (現代の教育理念4) 第10回 教育課程と学習指導要領 (教育課程の意義と編成1) 第11回 「ゆとり」と「学力」をめぐる (教育課程の意義と編成2) 第12回 教育課程をどう編成するか (教育課程の意義と編成3) 第13回 教育課程の評価と改善 (教育課程の意義と編成4) 第14回 いま「学校」の「先生」であるということ (これからの学校像・教師像を編む1) 第15回 まとめと補足、そして発展 (これからの学校像・教師像を編む2)		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	批判, 吟味, 教育原理, 教育哲学, 教育倫理, 教育史, 現代教育思想 (その他, 上記の授業内容も 参照)		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	LACS (長崎大学主体的学習促進支援システム) を活用し、適宜資料を配布する。 以下に掲げる参考図書は、開講前、および開講中に一読することを推奨する。 他の様々な参考図書・参考資料については、授業の際に適宜紹介する。 ・江藤恭二ほか『子どもの教育の歴史 新版』名古屋大学出版, 2008 ・広田照幸『教育問題はなぜまちがって語られるのか?』日本図書センター, 2012 ・柴田義松『教育課程論 第二版』学文社, 2008		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	・授業ごとに課す課題 (小レポートおよび小テスト) 40% ・最終レポート 60% なお、LACS上で詳細な採点方法等を提示する。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	授業外で週2時間以上の学習をすること。また、全ての授業について、以下の点はこなすこと。 1. LACSで提示する講義資料は事前にダウンロードし (印刷もしておくとい)、一読する。また 、そのテーマについて自分なりに考えておく。 2. 授業後には講義資料および紹介した文献を活用し、考察を深め、今後の授業および最終レポ ートに備えておく。		

<p>アクセシビリティ/Accessibility</p>	<p>(和文) 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り 組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp (担当教員各位: 追記がある場合は上記を残し、この下にご記入下さい)</p> <p>(英文) In order to ensure equal educational opportunities for all students, Nagasaki University strives to remove societal barriers that may interfere with academic activities, and to provide reasonable accommodations as necessary and appropriate. If you have any questions or concerns regarding reasonable accommodations or other support in this class, please feel free to talk to the instructor (contact information above), or contact the Student Accessibility Office. Student Accessibility Office contact information (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>
<p>備考 (URL) /Remarks(URL)</p>	
<p>学生へのメッセージ/Message for students</p>	<p>自分の中にある常識・信念が揺さぶられる、そんな体験を提供できればいいのですが・・・。いず れにしろ、教育について考えるのは、簡単そうに見えて、実際は本当に難しく、だからこそ面白 いのです。一緒に楽しみましょう。</p>